

令和5年5月1日

令和4年度 事業報告書

学校法人 織田学園

1. 法人の概要

(1) 教育理念

社会に必要とされる人材を育てる学園、  
そして学生が明るく楽しく学ぶ学園を目指します

(2) 生活理念

「低賞感微」(低姿勢、賞賛、感謝、微笑)

(3) 学園の主な沿革

昭和22年5月	「文化洋裁教室」を設立
昭和24年11月	各種学校として、東京都認可校となる
昭和32年	「織田文化服装学院」と校名変更
昭和34年	きもの学院設立
昭和40年10月	学校法人織田学園認可
昭和43年4月	「織田調理師専門学校」設立認可、厚生大臣の指定校となる
昭和44年	「織田きもの着付教室」開講
昭和51年4月	「おだ学園幼稚園」を設立開園 寄付行為を変更、準学校法人から学校法人に変更 9月学校教育法の一部改正により、「織田文化服装学院」を「織田服飾デザイン専門学校」に、「織田きもの学院」を「織田きもの専門学校」と改称し、それぞれが専門学校に昇格 織田調理師専門学校も新制専門学校として許可
昭和55年4月	ファッションビジネス科新設
昭和55年11月	織田服飾デザイン専門学校、織田きもの専門学校および織田調理師専門学校の無料職業紹介所開設許可(労働大臣許可)
昭和56年4月	「織田栄養専門学校」設立許可、厚生大臣の指定校となる
昭和56年5月	学園創立35周年記念式典開催
昭和58年5月	織田栄養専門学校の無料職業紹介所開設許可
昭和58年12月	織田服飾デザイン専門学校、フランスのエコール・ド・ラ・クチュール・パリジェンヌ服飾学校と姉妹校提携
昭和63年 平成3年	「織田服飾デザイン専門学校」を織田デザイン専門学校に改称 織田栄養専門学校、文部省職業高度化開発研究委嘱校となる

平成 9 年 7 月	織田学園創立 50 周年感謝の会開催
平成 10 年 1 月	「織田製菓専門学校」設立認可
平成 10 年 2 月	「織田福祉専門学校」
平成 10 年 4 月	「織田製菓専門学校」「織田福祉専門学校」開校
平成 11 年 4 月	織田福祉専門学校に居住ケアデザイン学科を新設 「織田きもの専門学校」創立 40 周年 調理校、製菓校がフランスのエコール・オトゥリエール・ジャン・ド ウルヴァン校、セプロック校と姉妹校提携
平成 14 年 4 月	東京都認証保育所「おだっこ園」開園
平成 14 年 5 月	織田学園創立 55 周年
平成 15 年 4 月	織田福祉専門学校に居住ケアデザイン学科を福祉環境ビジネス学科 に改編
平成 18 年 4 月	服飾研究科新設
平成 19 年 5 月	織田学園創立 60 周年
平成 20 年 4 月	「織田デザイン専門学校」を「織田ファッション専門学校」に改称
平成 22 年 4 月	幼稚園・保育園を多摩市落合に移転し、おだ認定こども園（幼保連携 型認定こども園）を開設
平成 22 年 7 月	織田福祉専門学校を閉校
平成 29 年	織田学園創立 70 周年
平成 29 年	調理師校がパリのメデリック"ECOLE JEAN DROUANT"(ドゥルアン 校)と姉妹校提携
令和 3 年	「おだ学園保育園」開園
令和 4 年	織田栄養専門学校を閉校
令和 5 年	「織田学園中野高等専修学校」開校。

(4) 設置する学校・学科等（令和 5 年 3 月 31 日時点）

（単位：人）

学 校	学科・専攻等	収容定員	在学者数
織田ファッション専門学校	ファッションデザイン科	80	23
	ファッションテクニカル科	80	35
	ファッションビジネス科	80	36
	スタイリスト科	80	25
	ファッションデザイン専攻科	40	9
	ファッションテクニカル専攻科	40	14
	マーチャンダイジング専攻科	40	8

織田きもの専門学校	きもの科	100	45
	きもの専攻科	30	24
織田調理師専門学校	調理師科	60	21
	調理技術経営科	80	62
	調理製菓製パン科	60	47
織田製菓専門学校	コンフェクション2年制	160	35
	コンフェクション1年制	40	7
	ベーカリー&スイーツ	40	3
おだ認定こども園	1号認定児（満3歳児から5歳児）	135	125
	2号認定児（3歳児から5歳児）	77	80
	3号認定児（0歳から2歳児）	43	43
おだ学園保育園	（認可保育所）	60	57
合 計		1325	699

## 2. 事業の概要

当該年度の事業項目	事業の概要
織田ファッション専門学校	<p>教育面では定期的に外部から意見を聞く機会を設けることにより、具体的に改善すべき事項が見えてきている。今後も企業との関わりを重視してよりニーズに沿ったカリキュラム内容を検討していきたい。</p> <p>就職面では、業界求人数も感染症発生前の状況まで回復傾向にあるが、就職意識の低い学生もあり、意識付けが課題である。</p> <p>学校行事はほぼ例年通り実施でき、学生の満足度に繋がったと感じている。</p> <p>学生募集の成果は前年度を下回った。分野希望者が減っていることと、大学の定員緩和化などが影響していると推測する。</p> <p>昨年に引き続き、外部のデザインコンテストで優秀な成績を収める在校生もいた。</p>
織田きもの専門学校	<p>教育面では、きもの関連企業とのコラボレーションを実施し、実践的な教育機会を提供した。今年度もきものサローネなどに学生作品展示で参加した。</p> <p>就職面では内部進学希望者と進路変更希望者を除き、概ねきもの業界に就職した。業界は同じものの、職種や業態は</p>

	<p>様々である一方で、意識の低い学生も多く、その意識付けが課題である。</p> <p>学校行事は感染症の影響により残念ながら実施できないものもあった。</p> <p>学生募集の成果は芳しくなかった。その理由としては、大学進学検討者が増えたことが考えられる。</p> <p>例年に引き続き、メンタルに問題を抱えている学生に対してサポートを行い、保護者との連携を図った。</p>
織田調理師専門学校	<p>教育面では、入念な感染症対策のもと、例年通り問題なく授業および学校行事を実施することができた。</p> <p>就職面では進路変更希望者を除き、概ね飲食業界に内定し就職した。業界は同じものの、業態は様々であり、学生ひとりひとりの希望に合わせ、適切なサポートを行った。</p> <p>学生募集の成果は前年度を下回った。その理由としては、感染症によって飲食業界が打撃を受け、業界自体の志望者が減っていることと推察される。</p> <p>食品ロスの削減やエネルギーの制約など、SDGs 推進について学校全体で取り組んだ。</p>
織田製菓専門学校	<p>教育面では、入念な感染症対策のもと、例年通り問題なく授業および学校行事を実施することができた。</p> <p>就職面では内部進学希望者と進路変更希望者を除き、概ね製菓業界に就職した。業界は同じものの、業態は様々であり、学生ひとりひとりの希望に合わせ、適切なサポートを行った。一方で意識の低い学生も多く、その意識付けが課題である。</p> <p>学生募集の成果は前年度を下回った。オープンキャンパスからの取り込み率が思うように上がらなかったのが主要因であると推察される。</p> <p>その他、食品ロスの削減やエネルギーの制約など、SDGs 推進について学校全体で取り組んだ。</p>
おだ認定こども園	<p>今年度は0歳児から就学前の教育と保育を一体的にとらえ、特に乳幼児期から始める ESD 教育を発達年齢に応じて職員が意識してスタートさせることができた。来年度は更に着実に実行できるように計画している。</p> <p>地域の子育て支援の一環として新しい試みとした、赤ちゃん食堂はコロナ禍で地域の繋がりが薄れがちな家庭にと</p>

	<p>って、ほっとできる時間を提供できた。一方で少子化の影響を受け、2歳児のプレこども園の募集は減少傾向になっているため、他園の状況をリサーチしながら、保護者のニーズに添える形を検討し来年度に向けて園児獲得に強化していきたい。</p>
<p>おだ学園保育園</p>	<p>教育・保育の中で、畑の作業やアートやリトミックなど外部の人たちと関わりを持ちながら地域に根ざした園運営を実施している。職員は乳児保育、幼児教育、保護者支援、保健衛生、食育・アレルギー等研修の機会を持ち、専門性をもった資質向上に引き続き努めていく。課題としては在園児数の充足と多様化している家庭が増えていることに伴い丁寧な保育と保護者支援が持続できるよう職員体制の対応が必須となってくることにある。</p> <p>また、今後もSDGsを含め2030well-being（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念として「幸せ」）持続可能な社会を目指した企画の実践を盛り込んでいく。</p>

以上